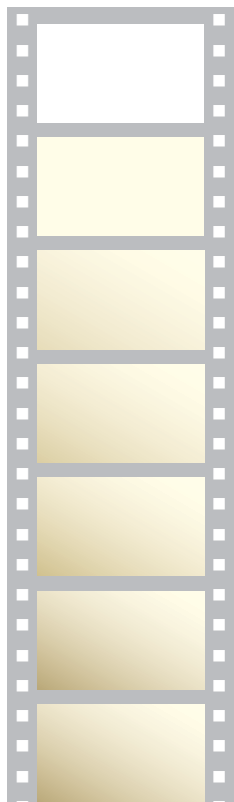
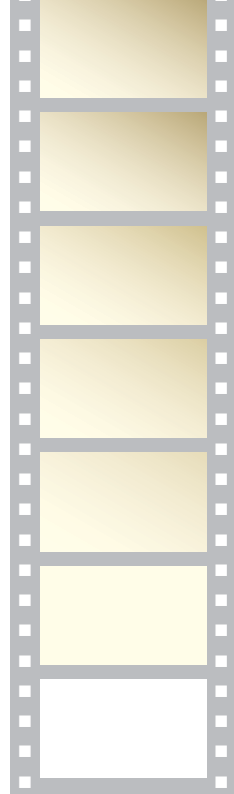


伸^ノさんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第五十八回 「体育はゴルフ」②

前回、大学の科目に「体育の実技」があり、それも「いろいろなスポーツから選別できるシステムに驚いた」という話をしました。また、プロゴルファーを兄に持つ美人の女子大生の話もしました。それでは、残念ながら定員オーバーになり、「体育の実技」の抽せんから外れてしまったばかりの大学時代の同級生をご紹介します。



大学の催物の時、高校時代からの親友で写真部の中山良男君（故人）に撮影してもらいました。マイクを持っているのはぼくです。

しょう。

大学時代の同級生◎◎

沼澤博子（本名）さんです。

芸名は篠ひろ子（ヒロコの時代もありました）さん。

大学在学中、TBC（地元仙台の放送局）が初めて制

作するテレビ番組「ホリデー・イン・仙台」のアシスタントでテレビデビュー。番組司会者は、テレビ映画「スーパーマン」（53年製作・アメリカ・テレビ映画、主演ジョージ・リーブスほか）の日本語版吹き替えでおなじみの声優、大平透オオヒラトオルさんでした。

これから彼女はどんな道を歩むのかと思っていましたら、芸能活動が多忙になったせいか、大学2年の時、学校を中退してしまいました。（ちょうど、ぼくがアルバイトDJを始めた頃でした）

彼女は、作曲家「いずみたく」さんに認められ上京、クラウンレコードから「水色の風」で歌手デビュー。翌年、キングレコードに移籍します。

その後は女優を目指し、テレビドラマ「時間ですよ」の酒場のママ役でレギュラー出演し、人気を博しました。

一方、劇場映画「恍惚の人」（73年製作、監督豊田四郎、出演森繁久彌、高峰透子ほか。音楽佐藤勝）「放課後」（73年製作、監督森谷司郎、出演栗田ひろみ、地井武男ほか。音楽星勝）にも出演し好評を得ました。

シリアスからコメディーまで幅広い役で各社の映画に出演後、78年、芸名を「篠ひろ子」と改名し、80年以降はテレビドラマを中心に活躍しました。

同級生「篠ひろ子」さんは、ぼくたち「団塊の世代」のマドンナでした。

(続)

文中敬称略

伸

平成25年1月